

施策分野評価シート

1 基本目標・施策分野の名称

基本目標	3	豊かなこころを育むまち
施策分野	3	コミュニティ
10年後のめざす姿	さまざまな団体が地域づくりや地域コミュニティの活性化に取り組み、町内会・自治会の必要性を認識し、住民自らの自治による結束力の強い地域の姿が芽生え始めています。	

2 施策数値指標

指標名	現状値	実績				令和7年度 目標値 (実績値)
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
これからの社会において、地域社会の活動(町内会・自治会など)に積極的に参加したいと答えた人の割合	18.4% (令和元年度)	—				20% ()
コミュニティ施設利用者数(町民会館、地区会館、コミュニティセンター)	193,258人 (令和元年度)	109,955人				210,000人 ()
説明・コメント		※ これからの社会において、地域社会の活動(町内会・自治会など)に積極的に参加したいと答えた人の割合は、令和6年度にアンケートを実施予定				

3 予算・決算の状況

(単位:千円)

予算額					
事業費/年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
一般財源	82,466				
国庫支出金	1,513				
都支出金	417				
地方債及びその他の特定財源	15,000				
総事業費(計)	99,396	0	0	0	0

(単位:千円)

決算額					
事業費/年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
一般財源	68,567				
国庫支出金	3,897				
都支出金	39,710				
地方債及びその他の特定財源	13,418				
総事業費(計)	125,592	0	0	0	0

施策の評価(分析)

予算額と決算額の乖離は、武蔵野コミュニティセンター空調設備が故障したため、空調設備改修工事を施行した事による。施策数値指標:コミュニティ施設利用者数(町民会館、地区会館、コミュニティセンター)の減少は、新型コロナウイルス感染拡大の影響である。

4 重点施策			担当課	協働推進課・安全・安心課
施策	1	コミュニティ活動の活性化	基本構想・重視すべき視点	つながる地域づくり
年度	【進捗状況】(主な取組等)		【評価・査定】	
令和3年度	<p>瑞穂町町内会連合会役員会(全6回のうち2回書面開催)及び総会(書面開催)を開催し、コロナ禍での各地区との情報共有、事業・活動の検討等を行った。また、本役員会の事務局として、町内会・自治会への支援に努めた。</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大防止のため、前年度と同様に、町内会連合会事業(視察研修)が中止になった。</p> <p>町内会連合会の啓発活動として、令和4年2月21日から同年3月4日まで、庁舎1階ロビーでパネル展を開催し、町内会・自治会の活動写真展示による加入促進を行った。</p> <p>町内会連合会の新規事業として、瑞穂町公式キャラクターみずほまるを活用した加入促進チラシ及び庁用車に貼り付けるマグネットシートを作成した。</p> <p>地域コミュニティの活性化につながるよう、町内会・自治会が実施する事業及び活動に対し、地域づくり補助金による支援を行った。</p> <p>瑞穂町地域づくり補助金交付要綱(平成17年告示第116号)の一部改正を行い、当該補助金を有効に活用する制度に改正した。</p> <p>自助及び共助の一躍を担う自主防災組織の活動においては、新型コロナウイルス感染拡大の影響で十分な活動はできなかったが、コロナ禍においても、防災訓練で「タオルで知らせる安否確認」を実施し、防災意識の向上を図った。</p>		<p>新型コロナウイルス感染拡大の影響により、事業が中止になりながらも、対策を講じながら町内会への支援を行い、また公式キャラクターを活用しながら、アプローチを変えた取組を行っていることは評価できる。地域コミュニティの活性化はまちづくりの大きな力となることから、引き続き、町内会・自治会の負担軽減を図るとともに、協働を定着させるため、新たな方向性を見出すことも必要である。</p>	
令和4年度				
令和5年度				
令和6年度				
令和7年度				

			担当課	協働推進課
施策	2	地域コミュニティ活動の基盤づくり	基本構想・重視すべき視点	つながる地域づくり
年度	【進捗状況】(主な取組等)		【評価・査定】	
令和3年度	<p>地区会館及びスポーツ広場等は、地域に精通した地元町内会と維持管理及び貸出業務の委託契約を結び、施設管理者からの要望等を取り入れ、必要に応じた修繕等を行った。</p> <p>コミュニティ機能、生涯学習機能等を備えた複合型施設であるコミュニティセンターは、地域住民の主体活動によるコミュニティ形成及び交流の場として有効活用している。</p> <p>町民会館は、令和3年5月8日から新型コロナウイルスワクチン集団接種会場としたため、施設貸出を中止している。</p> <p>地区会館及び各コミュニティセンターでは、緊急事態宣言等の発出及び新型コロナウイルス感染拡大防止により、令和3年4月1日から同年10月24日まで施設の貸出制限を実施した。</p> <p>武蔵野コミュニティセンターでは、空調設備改修工事により空調設備の入替等を行い、施設的环境改善に取り組んだ。あわせて、施設の貸出を令和4年2月11日から同年3月31日まで中止した。</p> <p>コミュニティセンターの管理運営、コミセンまつり等を話し合うコミュニティセンター管理運営検討委員会(武蔵野・元狭山)をそれぞれ年2回(うち1回書面開催)開催した。また、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、各コミュニティセンター主催事業及びコミセンまつりを中止した。</p>		<p>コミュニティ施設は地域コミュニティの基盤であり、新型コロナウイルスの影響を受けながらも、適切に管理されている。しかし、施設の老朽化が非常に大きな課題となっている。利用者ニーズを捉え、施設の在り方を含めた施設運営等について、今後検討が必要である。</p>	
令和4年度				
令和5年度				
令和6年度				
令和7年度				

5 個別事務事業概要

(単位:千円)

No.	事務事業名	担当	令和3年度		令和4年度 当初予算額
			当初予算額	決算額	
1	町内会(自治会)への支援	地域課	15,400	6,393	15,400
<p>事務事業の概要</p> <p>地域の積極的なコミュニティ活動や先進的な取り組みを支援し、住民一人ひとりが主役となったまちづくりを進め、各地域の主体的な活動を促進し、その活性化を図ることを目的とする。また、コミュニティ活動を活性化するため、研修会や先進地視察などを推進し、地域のリーダーの育成を図るとともに、低迷化している町内会・自治会加入率の増進を図っていく。</p>					
No.	事務事業名	担当	令和3年度		令和4年度 当初予算額
			当初予算額	決算額	
2	地区会館管理委託及び修繕等	地域課	11,325	18,918	77,061
<p>事務事業の概要</p> <p>再掲として、7-4 公共施設マネジメントに記載あり</p> <p>航空機の騒音によって、著しく生活環境を阻害されている町民の生活文化の向上と社会福祉の増進に寄与するため、コミュニティ活動の場として10の地区会館を提供している。会館の設置目的をより効果的に達成するため、地域に精通した地元町内会と会館の維持管理及び貸出し業務の委託契約を締結し、施設環境整備の充実と利用者の拡大を図っている。また、利用者の利便性と適正な維持管理を図るため、会館の修繕を行い地域コミュニティ活動等の推進を図っている。</p>					
No.	事務事業名	担当	令和3年度		令和4年度 当初予算額
			当初予算額	決算額	
3	スポーツ広場等の提供	地域課	16,699	14,710	22,822
<p>事務事業の概要</p> <p>再掲として、7-4 公共施設マネジメントに記載あり</p> <p>スポーツ広場等を町で借り上げ、町民に開放し提供することで、スポーツ振興と地域コミュニティ活動の活性化及び拡大を図ることを目的とし、12か所のスポーツ広場等について、維持管理に伴う運営費を町内会・自治会へ交付している。町で借り上げているスポーツ広場等の用地借上料の支払い、維持管理に伴う工事・修繕、樹木の剪定委託及び原材料費による砂の搬入等が主な内容である。</p>					
No.	事務事業名	担当	令和3年度		令和4年度 当初予算額
			当初予算額	決算額	
4	コミュニティセンターの運営	地域課	55,972	85,571	66,358
<p>事務事業の概要</p> <p>再掲として、7-4 公共施設マネジメントに記載あり</p> <p>コミュニティセンターは、コミュニティ機能、生涯学習機能、役場の連絡所機能(住民関係諸証明の受付、交付事務)や地域図書室(武蔵野・長岡)体育館的施設(長岡)を備えた複合型施設であり、地域住民の主体的活動によるコミュニティ形成の場及び交流の場として有効活用を図る。</p>					
No.	事務事業名	担当	令和3年度		令和4年度 当初予算額
			当初予算額	決算額	
5	自主防災組織の強化・育成事業	地域課	金額については、5-1 危機管理・防災・災害対策に記載		
<p>事務事業の概要</p> <p>地震、火災等から身体や財産を守るためには、町民が普段から防災訓練等の各種訓練に参加することを心掛け、防災行動力を高めておくことが大切である。同時に地震災害を防ぐためには、町民一人ひとりの力では限界があり、「自分たちの町は自分たちで守る」という自主防災の組織的な体制のもとで、地域の人々が協力し合って災害に立ち向かうことが必要である。町では、自主防災組織の強化・育成のため、毎年、総合防災訓練や防災リーダー講習会(普通救命講習)を実施しており、自主防災組織を育成する最も良い機会であると考え、今後も引き続き、自主防災組織主導型の防災訓練を実施する。</p>					
合計額			99,396	125,592	181,641